朝来市総合計画審議会　第２回　会議録

○　**開催日時**　　令和６年 12 月 23 日（月）13 時 30 分～16 時 00 分

○　**開催場所**　　朝来市役所本庁舎　4 階　401・402 会議室

○　**出席者の氏名**

	出席者	欠席者
委　員	岡　田　絵　美	篠　原　佳　也
	絹　巻　　泉	西　垣　佳　生
	草　郷　孝　好	羽　渕　真　奈
	篠　岡　昌　代	藤　原　真　紀
	下　口　光　子	中　島　しのぶ
	中　島　英　樹	
	中　西　光　彦	
	西　村　順　二	
	村　上　和　男	
	山　下　太　一	
	吉　原　剛　史	
事務局 （企画総務部総合政策課）	総合政策課長　　和　田　幸　司	
	総合政策課副課長　　馬　袋　真　紀	
	総合政策課上席主査　小　山　亮　介	

○　**傍聴者**　　なし

○　**会議**

１　開会

定刻になりましたので、第２回朝来市総合計画審議会を開催します。

２　草郷会長のあいさつ

総合計画は、皆さん市民の計画です。本日もぜひ皆さんからたくさんの質問や意見をいただければと思っています。２時間半の長丁場になりますが、活発な意見交換を期待しています。委員の皆様には、大変お世話になりますがよろしくお願いします。

３　報告事項

事務局＜資料１＞

（１）人口指標の状況、（２）第１回、第２回あさご未来会議、若者を対象とした対話などの振り返り、（３）今年度の対話から見えた若者・高校生の価値観、について説明。

中西委員

ウェルビーイングについて。（人口指標の説明があったが）人口が 3 分の 1 まで減ると歳入が減り、最低限の行政サービスになるため、これまでの地域・お金という価値観から個人の生き方･精神的健康に価値観を転換していくという考え方なのか。あるいは、サービスは従来通りだが、一人一人に掘り下げて未来志向・希望大切に、ということなのか。

事務局

後期基本計画においても、朝来市総合計画の 10 ページにある、価値観・ライフスタイルの多様化や「市民一人一人が主役」を踏まえてまちづくりを進めていくということや､一人一人の幸福度を高めることでまちの魅力になるという考え方を踏襲している。ただし、中西委員の仰るように、今までと同じ行政運営では難しくなっていく。どういったところにお金を使っていくのか、市民の力も借りながら､特にここは大切にしていこうというものを考えていくのが議論の趣旨である。

草郷会長

第３次総合計画を作る段階で、新しい物やサービスが出てきており、これまで通りの経済システムでは回らないため､生活する人みんなで協力しながらいいまちを作ろうということがメッセージとなっていた｡今回はその後期基本計画の策定に向けた審議会である｡中西委員の指摘も含めどうしたら良いのかをみなさんと一緒に考えたい。

事務局

こうあるべきを語っても新しい価値観に合っていなければ､若者は住むまちとして朝来市を選択しない。そのため、今回は 20 代がどういった価値観なのかを把握した。整理した意見を踏まえながら朝来市が大切にしたい価値を考え、35 施策にまたがって横断的に大切にできればと思っている。

４　審議

（１）重点政策について（グループ対話）

①重点政策について

事務局　＜資料２＞

重点政策の前提及びねらいについて、事務局で整理した重点政策の方針のたたき台について説明。

②グループ対話

あさご未来会議や若者対話の意見を踏まえながら、重点政策を進める「アイデア」、重点政策の方向性について「不足」を補う意見について対話を行い、進めていくために大切な「キーワード」を整理した。

対話の内容は、別紙の通り。

③ギャラリーウォーク

他グループの対話の内容を聞き、意見交換を行った。

④振り返り対話

ギャラリーウォークでの意見交換を踏まえ、グループで意見交換を行った。

⑤総括

西村副会長

対話お疲れ様でした。

グループ対話に参加させていただき、心に残った意見は、若い人の言葉を頭ごなしに否定しないということ。否定されるとそれだけで喋りたくなくなるため、どうやったらできるのかを一緒に考えるという姿勢は重要。なかなか難しいことではあるが、若い人が意見を言いやすい場をつくると面白いアイデアも出てくると思う。

働き方について、様々な意見が出ていた。近年の若者は「ワークライフバランス」から「ワークライフインテグレーション」を求める価値観になってきている。仕事すなわち働くという価値観であるため、職場が合わなければ転職する、経済的には生活できればよいといった考えを持っている。若者の持つ新しい価値観に目配りをしないといけない。

気になったのは、伝統的なまつりが各地域にあるが、市のまつりとして融合していないという話もあった。

朝来市の魅力とはなにかを、暮らしている人が明確に自覚して発信していくことも大切である。「よそ者・若者・バカ者」とよく言われるように、外から見た発見は効果的であるが、主役は地域の人である。地域に昔からある朝来市のよいところを伝えていくことが大切。

次にプラットフォームにもつながることについて。デジタルは便利であり、必要であるが、間違って伝わるリスクもある。また、デジタルだけでは面白みがなかったり不十分であったりすることもあり、リアルなコミュニケーションも非常に重要である。例えば、まつりや朝市、マルシェなどはリアルの

プラットフォームであると言える。デジタルとリアルを融合したハイブリッドなプラットフォームが必要である。その際に、発信するコンテンツも重要である。例えば、朝来市といえば、竹田城跡や水が綺麗でお米やお酒が美味しいこと、自然が豊かであることは誰もがわかっているが、この場所から見た夕日が綺麗など、より具体的でストーリー性を持った、個人の経験に基づく「シーン」を発信することも大切である。暮らしている人にとってはちょっとしたことでも外の人には貴重な経験となる。

草郷会長

皆さま対話お疲れ様でした。

「横断的」について、難しいと思っていたが、グループで対話する中で、掛け合わせ、組み合わせが大事という意見があり、その通りだと思う。

若い世代がなぜ朝来市に定着しにくいのかを考える上で、朝来市になにがあるかということに加え、未来の朝来市はどんなまちでありたいかを、明確にし、整理しつくっていかないといけない。例えば対話の中で出てきた「おしゃれ」という言葉を一つ取っても、世代ごとにおしゃれの受け取り方に違いがある。そこが面白く、今の時代にマッチした言葉だと思う。

若い人たちは「仲良くなりたい」、「声を掛けてほしい」という願望がある。まちづくりに興味がある、地域やボランティアに興味がある、日本を超えて調査したいなど、ツールがあるからやってみたいことを実際にできる世代でもある。若い人に「なにをやりたいの？」を聞いて肉付けしていくといいのではないか。

また、ウェルビーイングとは主観的な指標である。市の施策がなにを達成していくかという指標と主観的な指標とがどう関わっているのかがあまり見えていない。こういうことをやったら市の施策がこういうふうに見えてくるというものが必要。今回の２グループのディスカッションを活かして整理できれば良いものをつくることができると思っている。

（２）総合計画体系の確認

事務局　＜資料３＞

総合計画体系図（施策、重点政策の位置づけ等）の確認について説明。

西村副会長

施策１つ１つの最適化を目指していくのか。あるいは、ありたいまちの姿と施策は関連しあっており、独立しているようで互いに影響があるため、いくつかのミックスが有効な手立てになるという視点を足すのか。

個別で数値が低くてもつながることにより、相乗効果が生まれるのでは。

草郷会長

基本計画については、36 個目以降の施策を作るのか、現在の 35 施策のまま進めていくのかということを確認したい。また、KPI と主観的な指標の連携については、連動的なところはこれからつめていくという理解であっているか。

事務局

草郷会長のご指摘の通り。施策は 35 あり、施策ごとに指標が設けられている。また、施策にぶら下がっている事務事業があり、事務事業ごとに指標が設けられている。事務事業を達成すれば施策の指標も達成し、施策の指標が達成するとありたいまちの姿が達成し、ありたいまちの姿を達成すると将来像「人と人がつながり幸せが循環するまち」も達成するという形。草郷会長の仰るように幸福度は主観的な指標であり、まちづくりの中で主観的な指標と連動し、指標を高めていくには、市民参画が重要であるため、35 施策すべてで市民参画を重要視したい。

また、西村副会長が仰るように、一つの施策に対し一つのアプローチでは対応できない。それについては、総合計画の各施策に、「施策間連携」という表示をしているが、連携が十分でないところもある。一つ一つの施策で「若者が住み続けたいまち」も意識するが、特に連携して横断的にやっていくことを重点政策として位置付けていくことを想定している。

西村会長

部分最適だと全体で見ると崩れている可能性もある。縦割りになっていないことが重要。重点政策により横断的に見ていることが分かれば分かりやすい。

草郷会長

強調するが、主観的な指標とどう連動するか、横断的な取り組みがどう具体化されるか、指摘されたような指標がどこに関係するのかの構成軸が今はない状況である。また、25 ページ「基本構想における体系図」がこのままでいいのかという議論や、各個別のありたいまちの姿のところで、横断的な取り組みはどうなのかといった議論も残る。これについては、これから検討していく必要がある。

５　その他

今後の総合計画後期基本計画策定に係る取組を連絡。

・総合計画策定会議　　令和７年１月 10 日（金）
・基本計画（案）の作成　　令和７年１月下旬～２月下旬予定
・総合計画審議会　　令和７年４月～６月予定
・令和７年度あさご未来会議　令和７年５月～６月予定

６　閉会

西村副会長

皆様大変お疲れさまでした。主役である皆さんが腑に落ちるような総合計画をつくりたいという思いである。多様な人が朝来のまちで交流することも勿論大切であるが、主役である市民のみなさんがこんなまちでよかったなと思うようなまちにしていきたい。

本日は年末のお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。年明けにはリフレッシュして集まっていろんな意見をもらえればと思う。良いお年をお迎えできますように。

重点政策の方針

自分らしい生き方・暮らし方が実現できる仕組みづくり

仕事とプライベート（子育て、趣味、活動等）が相乗する環境づくり

【キーワード】
共働き、核家族、子育てサービスの充実、ライフワークインテグレーション、仕事もプライベートもバランス良く、仕事・プライベート双方が充実できる職場環境、経済的な安心、副業・複業

相互作用
横断的な掛け合わせ

様々な「つながる場」づくり

- **タテ割からヨコつなぎへの転換**
- **気軽なつながる・集まる場づくり**
- **若者・働く世代の対話の場づくり**

【キーワード】
多世代、ジェネレーションギャップ、同世代、外からの人、市外在住の出身者とのつながり、多様性、ジェンダー、気軽・ゆるやかな、関わりやすい、地域コミュニティ＆趣味・テーマ型コミュニティ、サポーター・コーディネーター、集まれる場所、雑談

相互作用
横断的な掛け合わせ

地域で遊ぶ・知る・学ぶ機会づくり

子ども：幼・小・中・高、一貫した地域とともにある遊び・学びの場づくり

大人：朝来市を知る・伝える生涯学習

【キーワード】
地域とともにある学校、遊び・学びの場づくり、部活動の地域連携・地域移行、自然体験などの朝来市ならではの学び、キャリアトークカフェ、生涯学習、大人の学びの場、シビックプライド

相互作用
横断的な掛け合わせ

まちの活動やみんなの想いがつながる仕組み

- **対話による市民と行政のコミュニケーションの充実**
- **デジタル＋リアルのオープンな情報共有のプラットフォームづくり**
- **Will(やりたい)を育み、応援する一人一人が主役のまちの推進**

【キーワード】
知る機会、魅力を伝える（かっこいい大人、ライフスタイル）、地域ごと・世代ごと・分野を越えた対話、分野・世代をつなぐコーディネーター、市民の想いをはかるアンケート調査、双方向、ポジティブな言葉がけ

アイデア 不足

進めていくために大切な

キーワード

生き方暮らし方

ライフが中心であること

ライフ ワーク インテグレーション

仕事・プライベート + 地域

地域の絆の時は休み 仕事

ワークライフバランス
↓
ワークライフインテグレーション へ
(融合)

若者の価値観に合わせた企業が朝来に多いこと！
(社会に貢献できることも重視、個の満足も)

目指す

自分のやりたいことにとびこんでいく若者。決断力アップ

経済成長、競争だけでなく個々の満足は社会的な動き
(ヨーロッパ、日本)

2拠点生活 柔軟なくらし方

元気で定年退職した世代でまだまだやれる！

朝来ブランド こんなライフスタイルができる！を示す。

なつかしさ 住みやすさ

全体

朝来の魅力を整理する。

つながる

上の世代が若者の発想を否定「それはアカン」できない → 意見いわなくなる

上の世代もどうやったらできるかを考える

地域の使え方
小学校区
ケ田人、和田山人
ユニットを活用

朝来全体でのイベント
花火での盛り上がり
小さなマルシェでもよんでも
朝来にはあまりない

多様な仕掛！

市民まつり → まち全体に

若者が定期的に集えるイベント企画づくり

イベントが定着しない。長続きしない

マンネリ化も(いつも同じ)
新規が重要
市への声かけ◎

まつりや行事(なくなると…おもしろみのない地域)
伝統、文化
↓
思い入れ、思い出になる
おもしろみがある

出店料ペイできない
負担大きいなど
運営側も循環してない

お客さん視点でなく自分が何かやってみること

地域外に出て行っても朝来市民としての役割を持っている

地域外にあっても成人式には帰ってくる。
W成人式(40才) きっかけづくり
40才、60才
若い人の姿を見て寄付しようと思う
(課長クラス)

地域が受け入れにくいのは世代間ギャップ???
受け入れやすい環境づくりを！

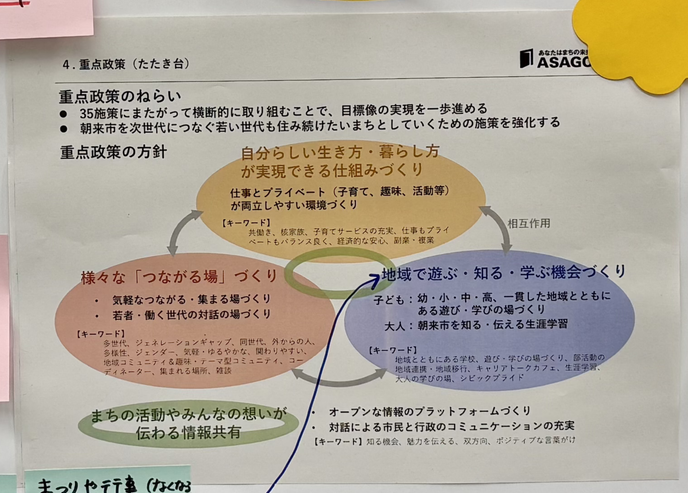
若者だけじゃなくきっかけ、機会を待っている

地域外(出身者)とのつながり

リアルであつまる場としてのイベント

得意なんが得意なことをやる。だれでも。

企業↔人材
マッチングできてない
・シルバー人材
・外国人労働者
↳ 定着してない？
↳ グローバルな時代
受け入れ取組考えないと。
(人口政策の意味でも)



地域で学ぶ

山に入って、川であそぶ、と言われている今の子たち

川遊びと体験して田舎あそび大好きになった(小6)

情報共有

デジタルでつながる
転職のタイミングで朝来をえらぶ

アナログのプラットフォーム(祭)
↕ 両方
デジタルのプラットフォーム

マルシェ

・どう使うか
・どんなコンテンツか
(文字だけじゃなく動画も)

デジタルもリアルもMIXして。

⇓
ハイブリッドなプラットフォームになる。

ラフに使える利用しやすさ

アナログ・デジタルMIXしないと効果的でなくなる

行政だけでなく地域の人が発信することが若者に支持される

情報

時代は!!

若者 若者を
サポートする
(仕事etc)
教育ではない

若者の生活目線
サポーター

年齢
性別
テマ
性別
超えて

タテの関係が
(タテ意識)
若者/若い世代を
外に追いやってしまう
(ムラ)

多様性

多様性は大切
だが
多様性=自律
社会とのつながりを作る

つぶさない!
若者の
意見をきき
つぶさない

つぶさない!!

若者・移住者の意見
聞く 尊重 活かす

自分たちの声
活動が
まち、学校を変えられる

おしゃれ
+
α

若い人たちと
直接聞く
意思決定の場
ちゃんと反映

(若者)
移住者の
価値感を
活かす

一般住者の
若い世代の
お母さん
の意見

若い人が
あこがれるような
人がいる。
じこたいみわかる。

大事!!

市外から
見ても

行ってみたい
住みたい
魅力的な

共有

つながり
連携

4．重点政策（たたき台）

ASAGOiNG

重点政策のねらい
- 35施策にまたがって横断的に取り組むことで、目標像の実現を一歩進める
- 朝来市を次世代につなぐ若い世代も住み続けたいまちとしていくための施策を強化する

重点政策の方針

自分らしい生き方・暮らし方が実現できる仕組みづくり
仕事とプライベート（子育て、趣味、活動等）が両立しやすい環境づくり
【キーワード】共働き、核家族、子育てサービスの充実、仕事もプライベートもバランス良く、経済的な安心、副業・複業

相互作用

様々な「つながる場」づくり
- 気軽なつながる・集まる場づくり
- 若者・働く世代の対話の場づくり

【キーワード】多世代、ジェネレーションギャップ、同世代、外からの人、多様性、ジェンダー、気軽・ゆるやかな、関わりやすい、地域コミュニティ＆趣味＋テーマ型コミュニティ、コーディネーター、集まれる場所、雑談

地域で遊ぶ・知る・学ぶ機会づくり
子ども：幼・小・中・高、一貫した地域とともにある遊び・学びの場づくり
大人：朝来市を知る・伝える生涯学習
【キーワード】地域とともにある学校、遊び・学びの場づくり、部活動の地域連携・地域移行、キャリアトークカフェ、生涯学習、大人の学びの場、シビックプライド

まちの活動やみんなの想いが伝わる情報共有

- オープンな情報のプラットフォームづくり
- 対話による市民と行政のコミュニケーションの充実

【キーワード】知る機会、魅力を伝える、双方向、ポジティブな言葉がけ

分野
かけあわせ
キーワード

work

おしゃれ
×
介護
(福祉)

おしゃれ
×
農業

おしゃれ
×
教育

アイデア

地域
キーワード

世代の
かけあわせ

農業
×
福祉

若い人達が
興味を持つ
きっかけなら

まずは
行政から
課を超えて

仕事と生活の
バランスを
確立!

公私混合
仕事×私
複業・副業

全体ビジョン

「働く」のキーワード
見えづらい
分かりづらい

地域資源力の
UP戦略

地域の
競争優位
が生まれる

関係人口

後継者不足
(特に一次産業)
対策
マッチング、etc

市外の人との
つながり
(関係人口)

市外・都市部の人(若者)
との関係
を、どう作るか。

2地域
居住

大学生等若者も
朝来市出身者と
朝来市が
つながっておくべき

つながり

コーディネーター

つながりを
作るコーディネート
市外とも

子育て世代と
退職した世代と
のつながり
(ボランティア等)

若者(若い世代)が
行きたい場所が
少ない。

スペースハード

複合的
施設

図書館の役割
多世代がつながる
可能性を

対話の場
人の集まる
「つながり」を得る
目的に

旧町を超えて
つながる
きっかけづくり

地域づくりにも
農・福祉にも
大切!!

つながりを
作る
コーディネート

・高齢者
・お子ども
・ママさん
・高校生

やるべきつながる

誰でも行ける
場
(スペース)

今ある事業と
かけあわせて
世代つなげる

多世代で
対話が
価値観
理解しあえる

情報

・誘われて考える
誘い合い

ここに行けば
「○○がある!」
おもしろそう!

朝来在住の
You Tuber を
(前向きな/面白い)
育てる ⇒ 朝来チャンネル
(チームでもよい)

・多世代
YouTuber

方向性
提